

# 2021年結核登録者情報調査年報 集計結果

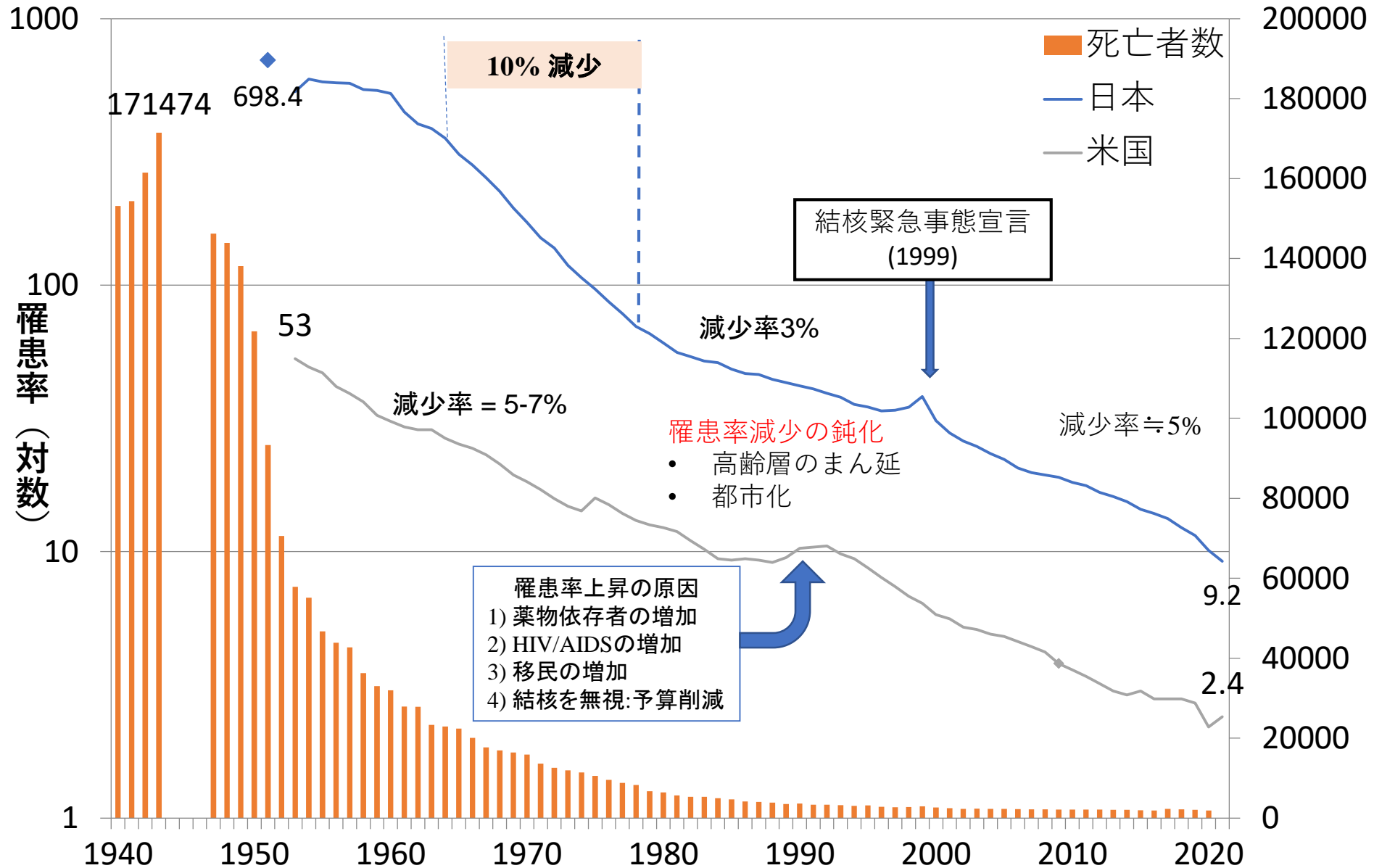
2022年8月30日

公益財団法人結核予防会結核研究所  
ストップ結核パートナーシップ日本

加藤 誠也

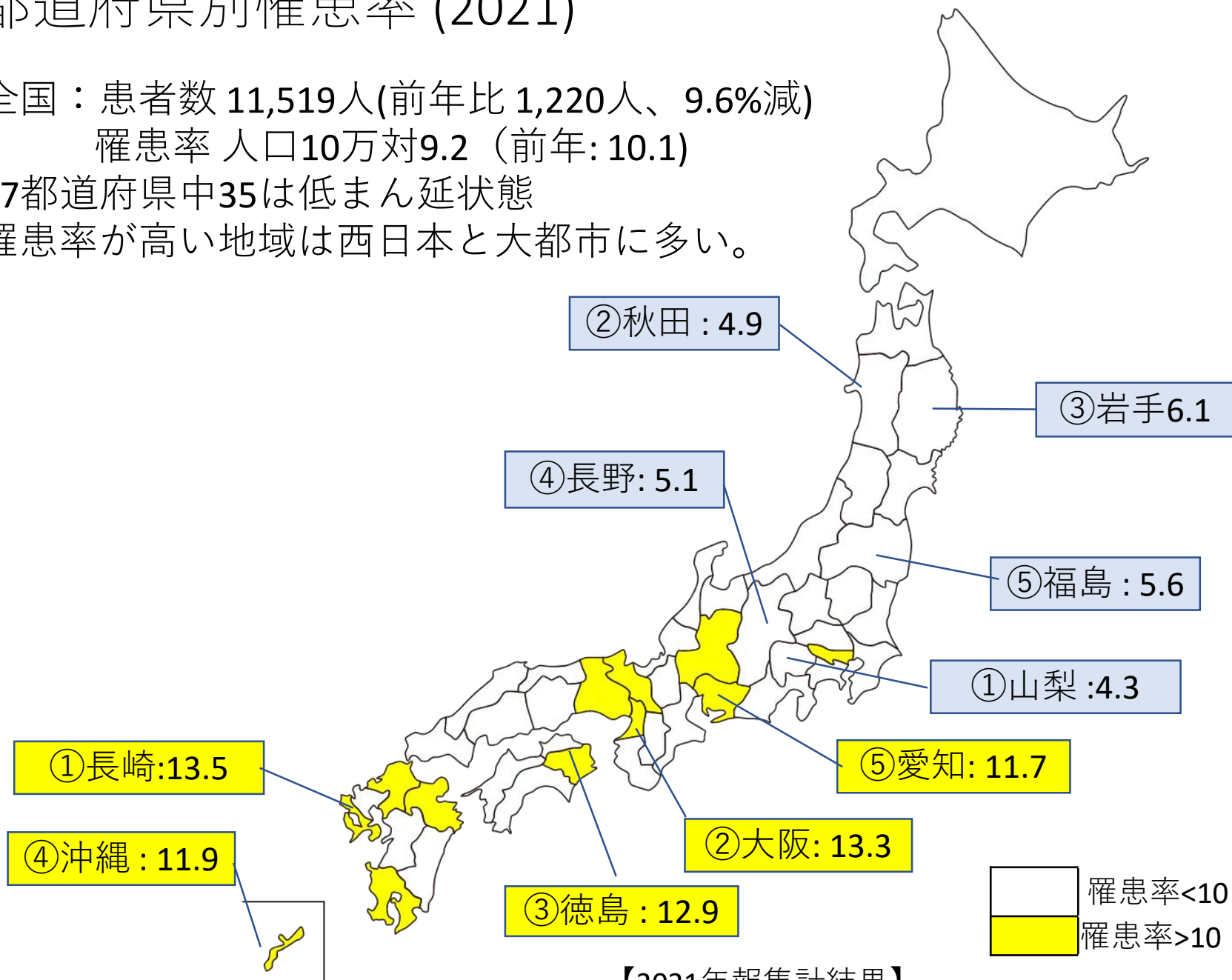
kato@jata.or.jp

# 日本と米国の罹患率推移



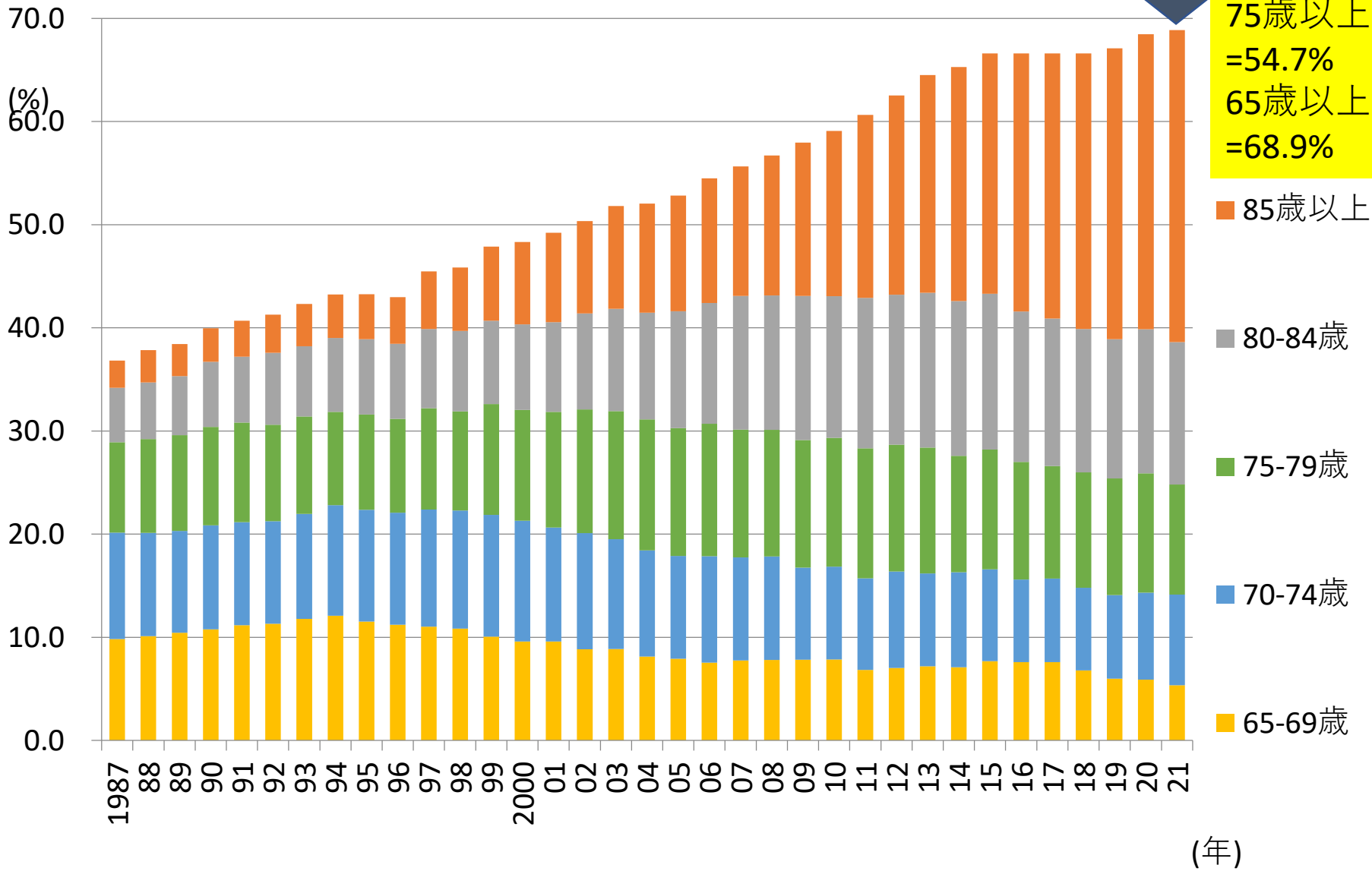
# 都道府県別罹患率 (2021)

- 全国：患者数 11,519人(前年比 1,220人、9.6%減)  
罹患率 人口10万対9.2 (前年: 10.1)
- 47都道府県中35は低まん延状態
- 罹患率が高い地域は西日本と大都市に多い。



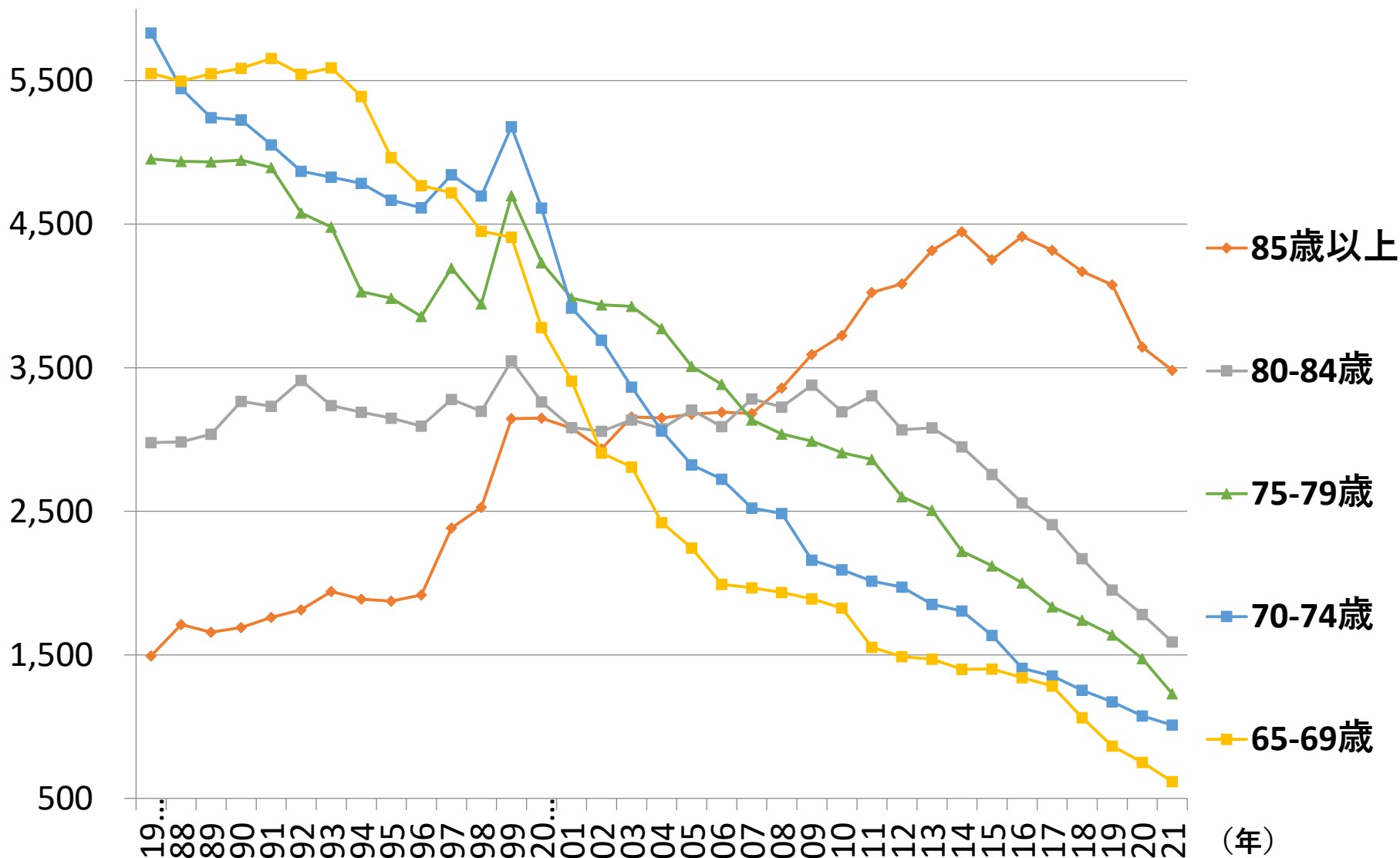
【2021年報集計結果】

# 高齢患者割合の年次推移（1987-2021年）



【2021年報集計結果】

# 高齢結核患者数の年次推移（1987-2021年） (人)



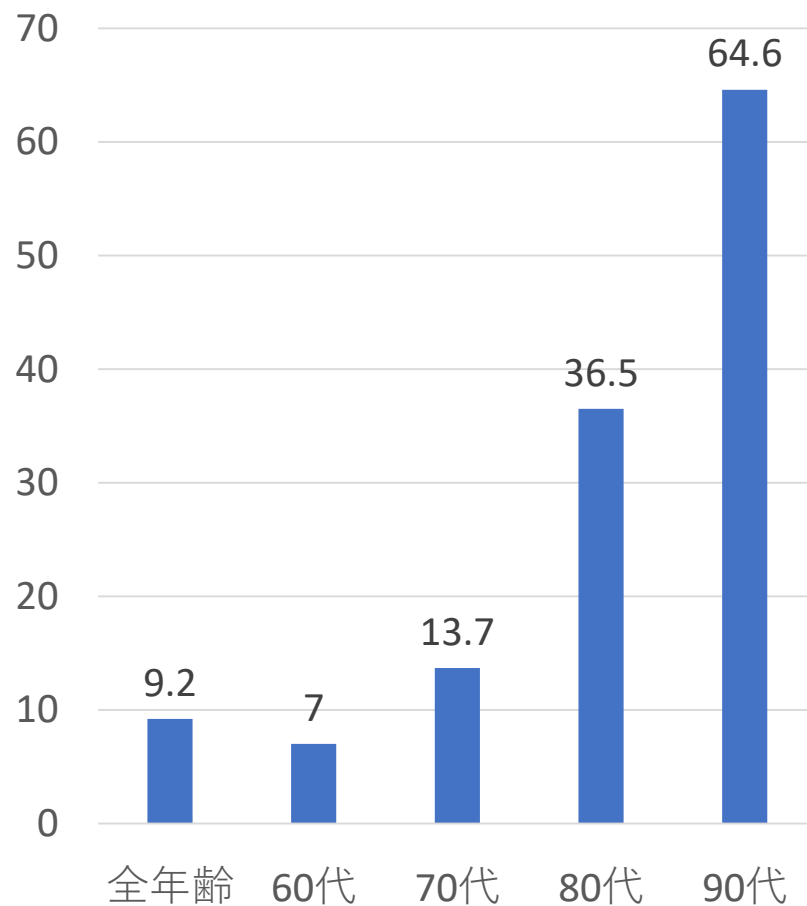
【2021年報集計結果】

# 年代別罹患率

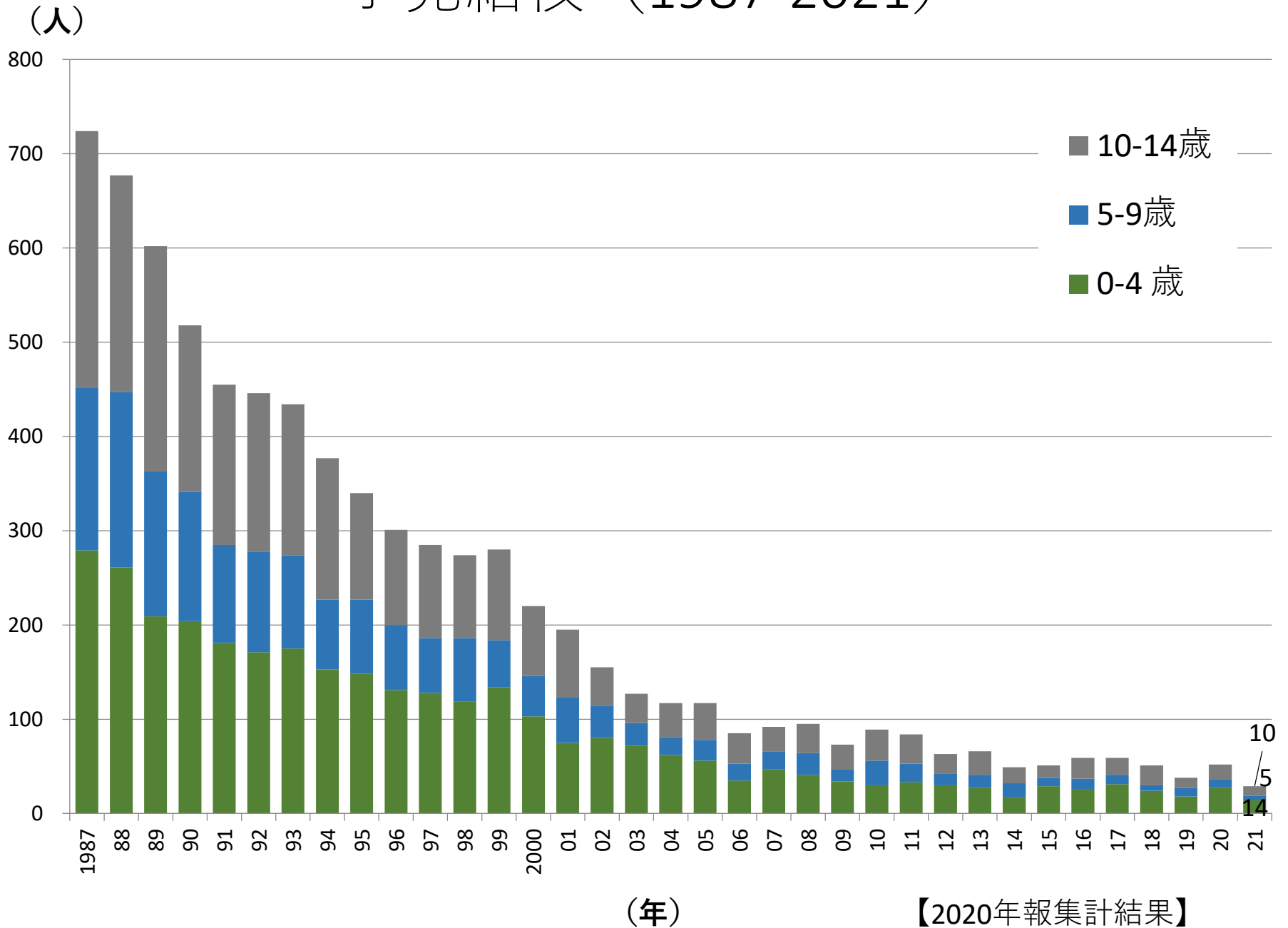
## 年代別罹患率の推移



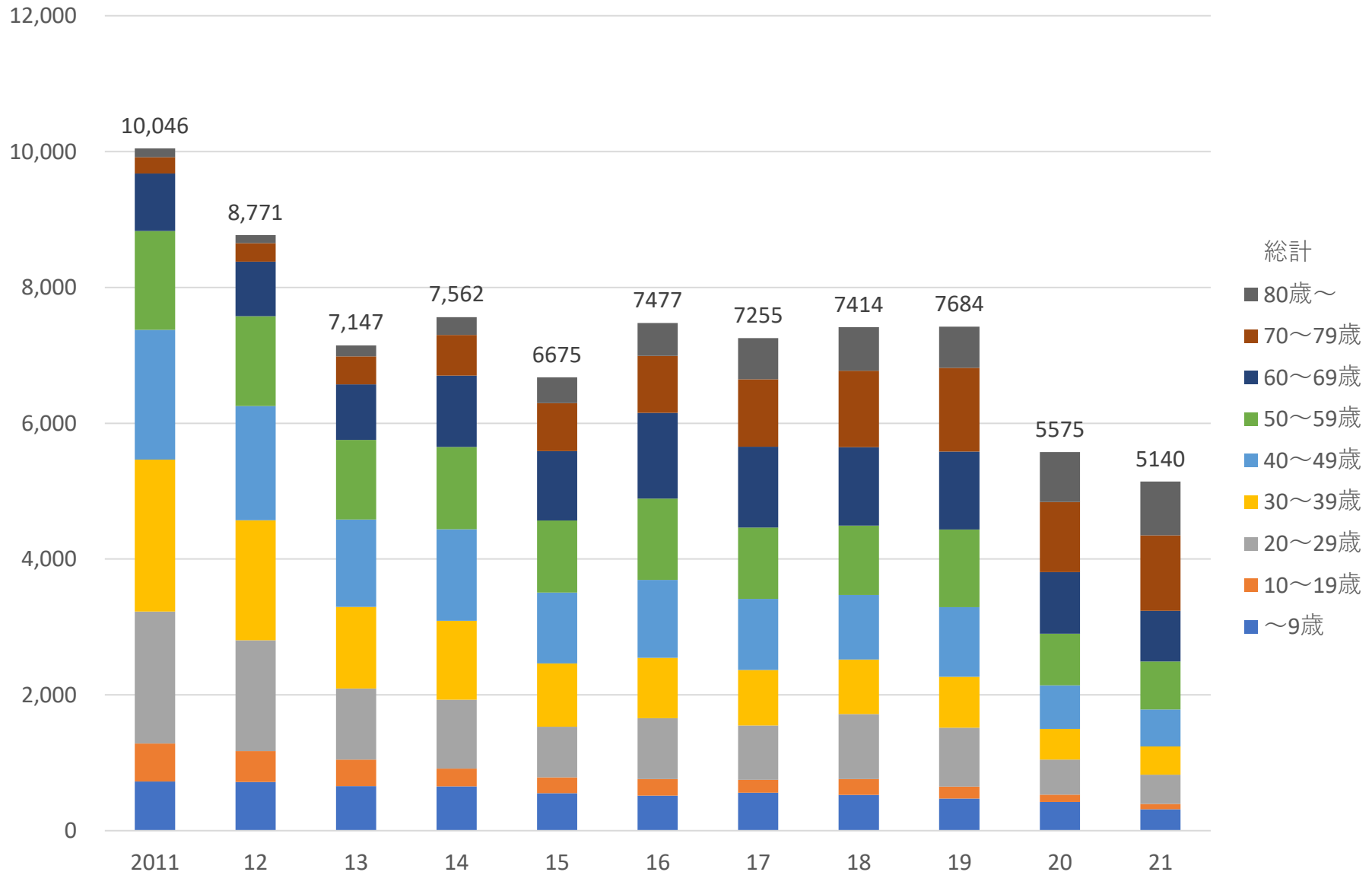
## 年代別罹患率(2021年)



# 小兒結核 (1987-2021)



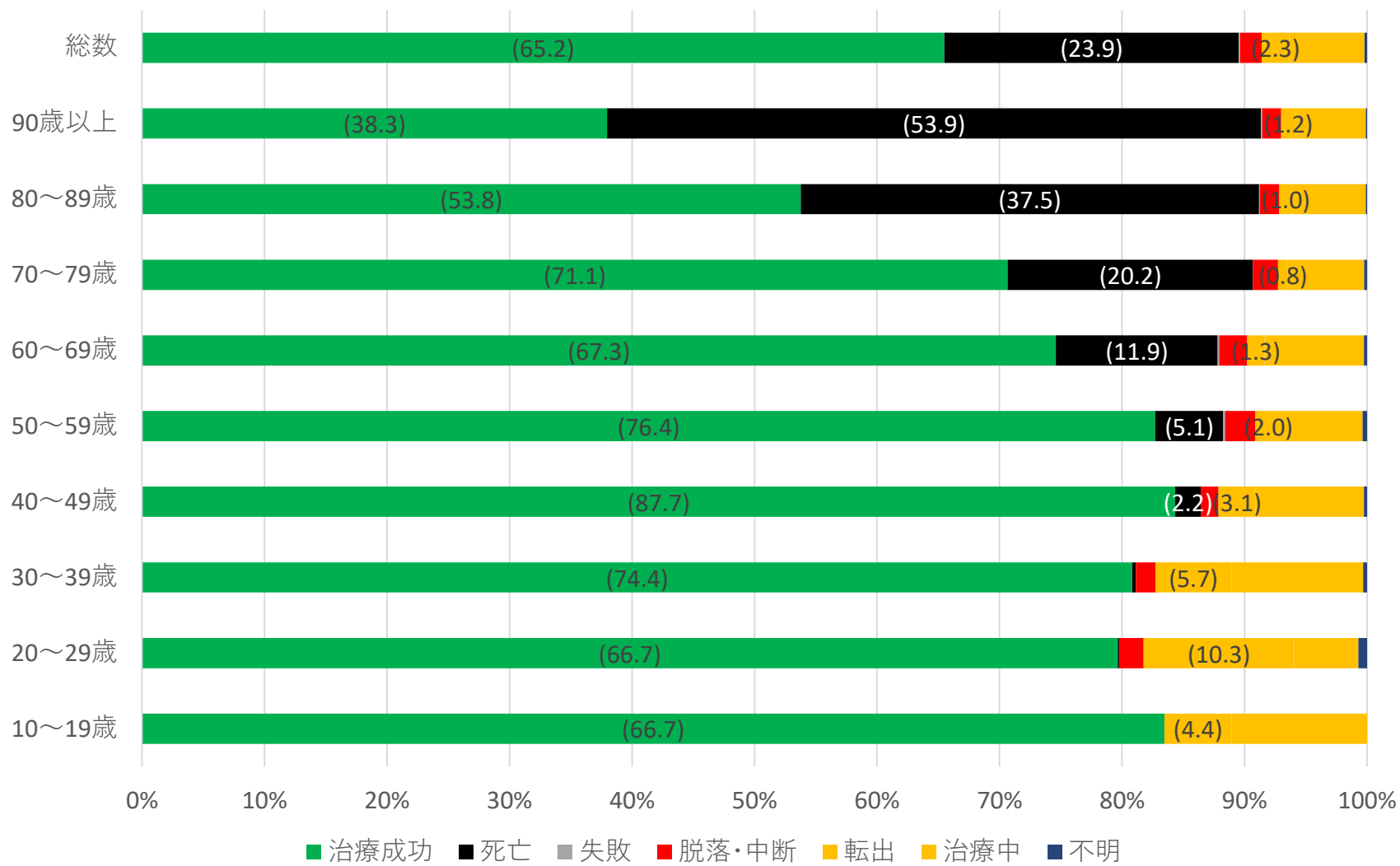
# LTBI届出数の推移(2011-2021)



【2021年報集計結果】

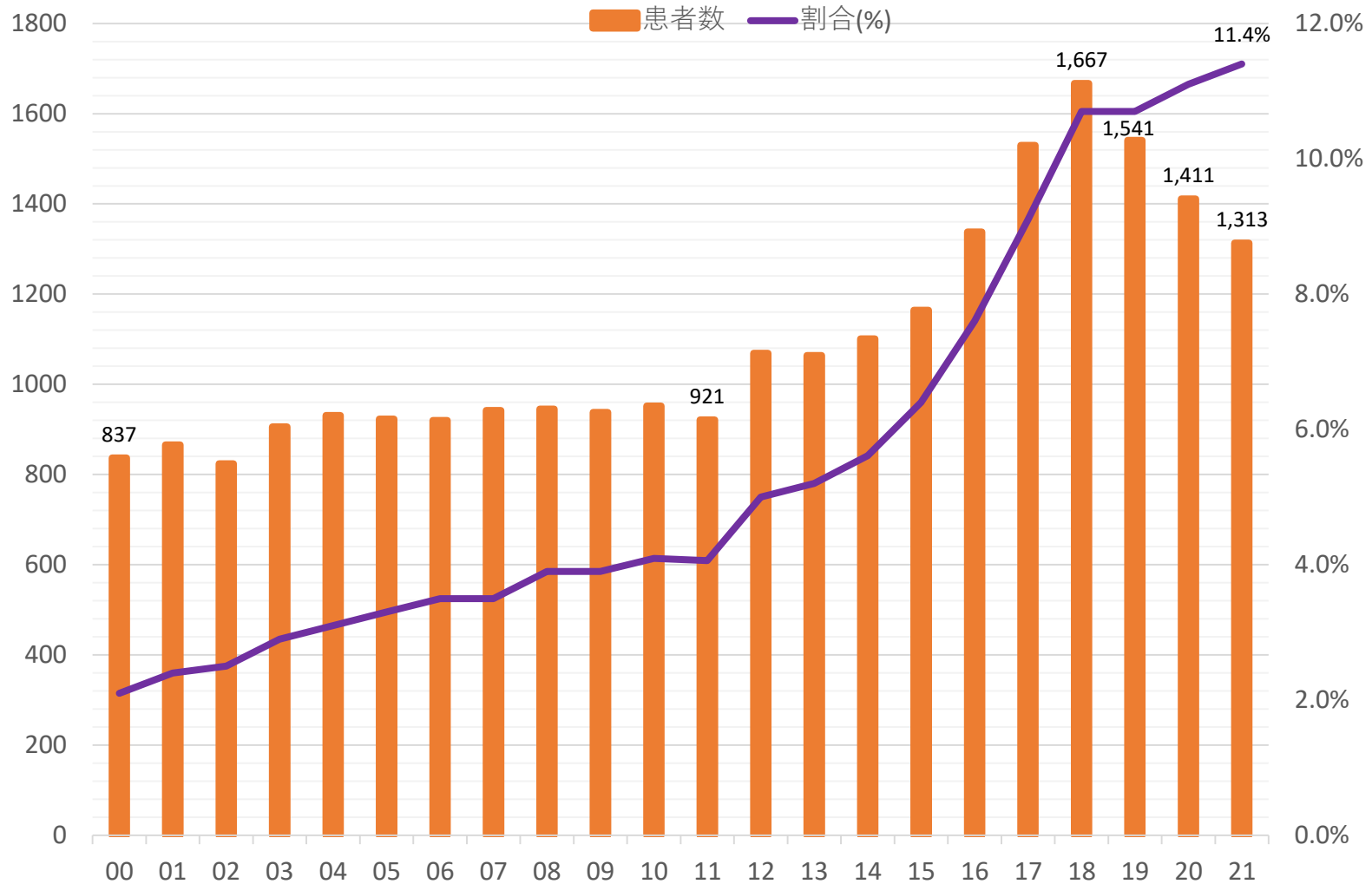


# 2020年新登録患者の治療成績

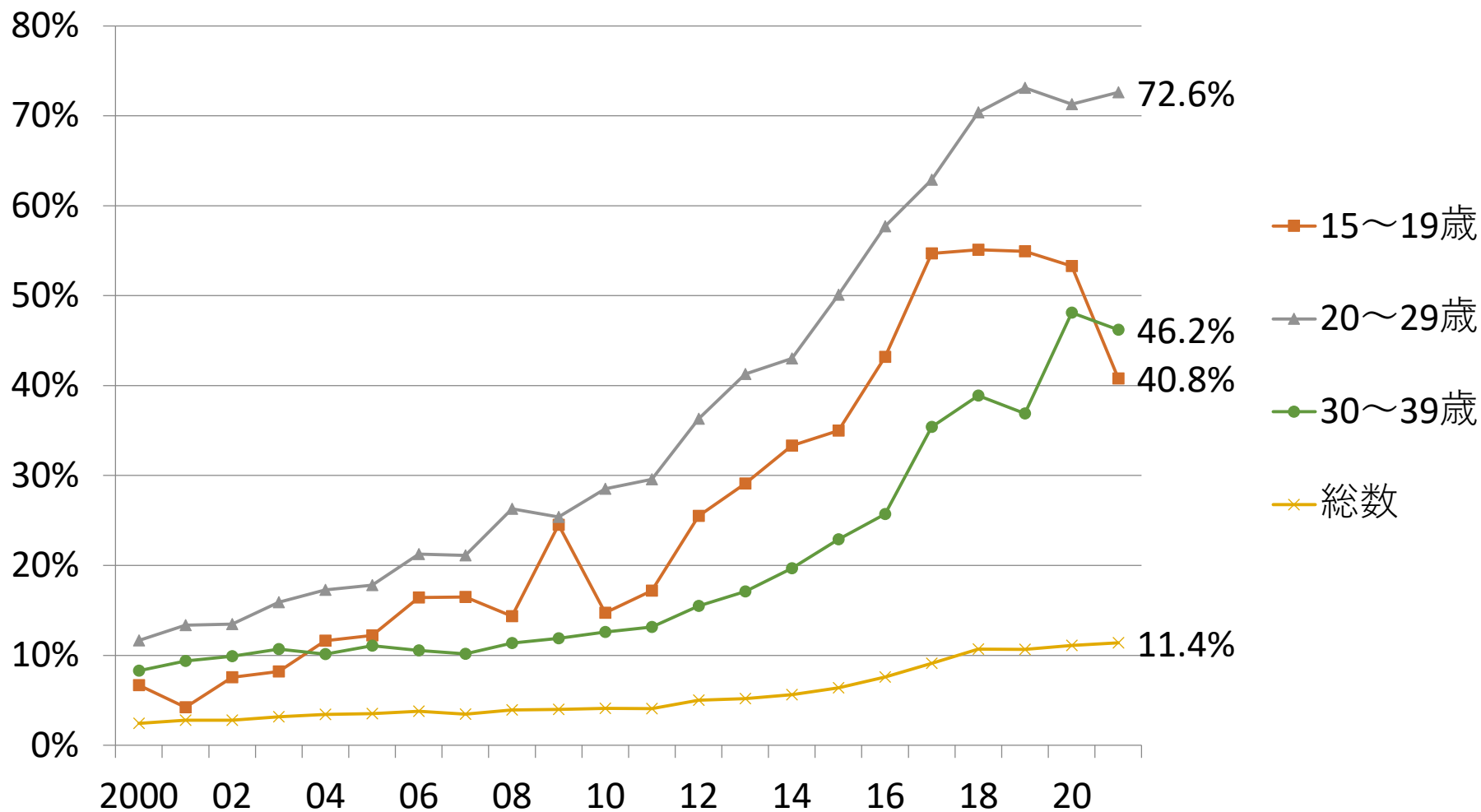


【2021年報集計結果】

# 外国出生の結核患者の数及び割合

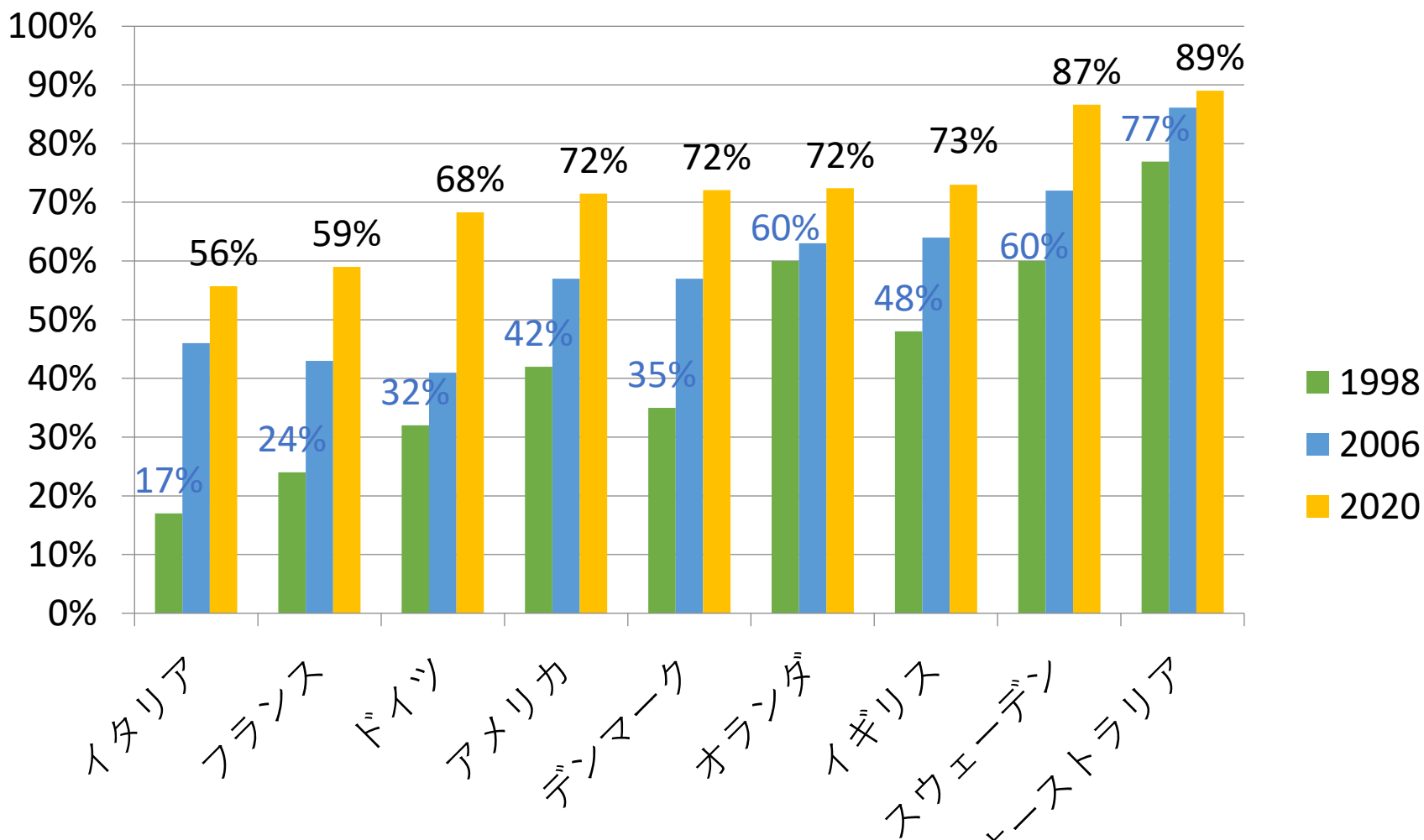


# 外国出生の結核患者割合, 2000-2021



【2021年報集計結果】

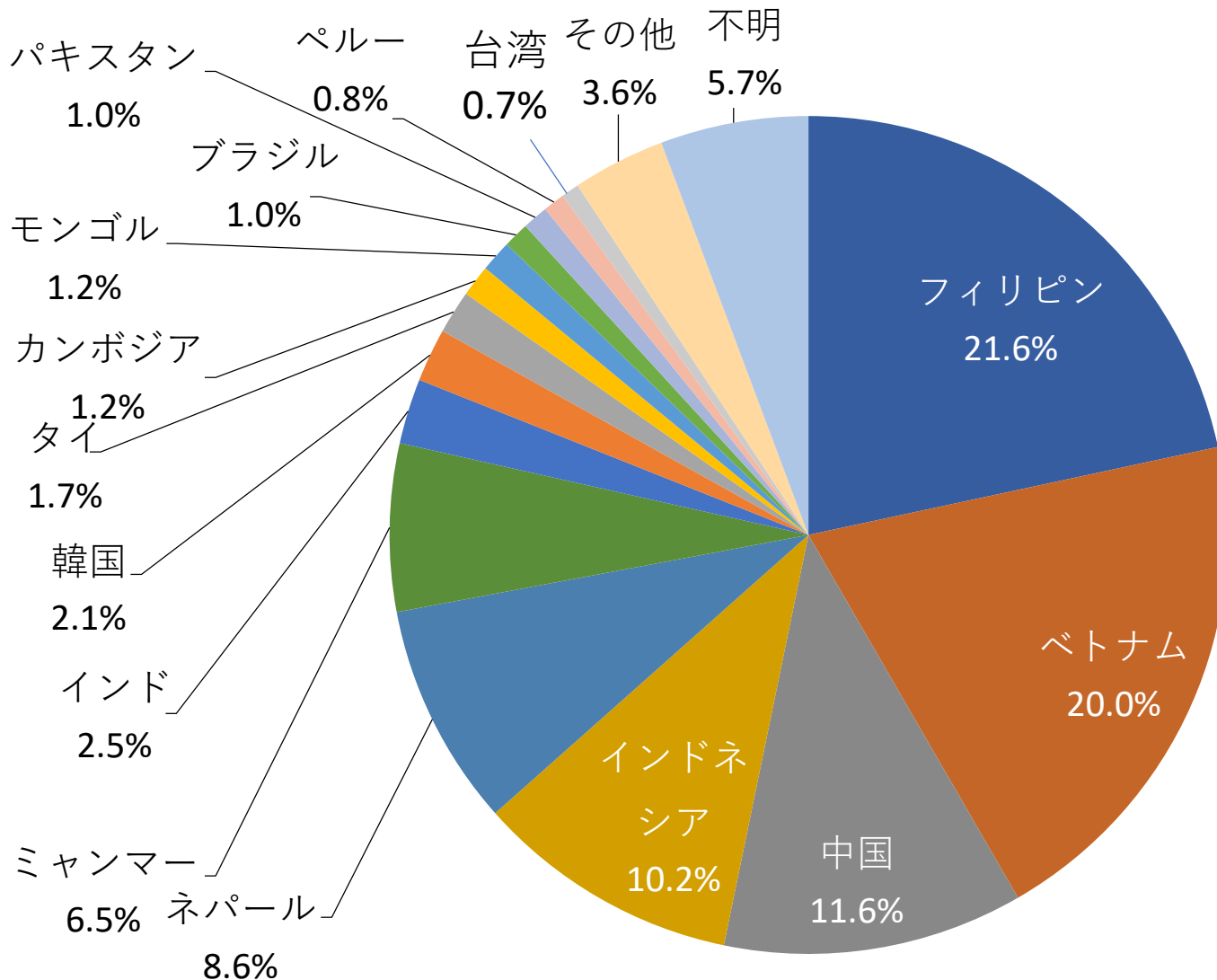
# 欧米諸国の外国生まれ患者比率の推移



※オーストラリアのみ2018年

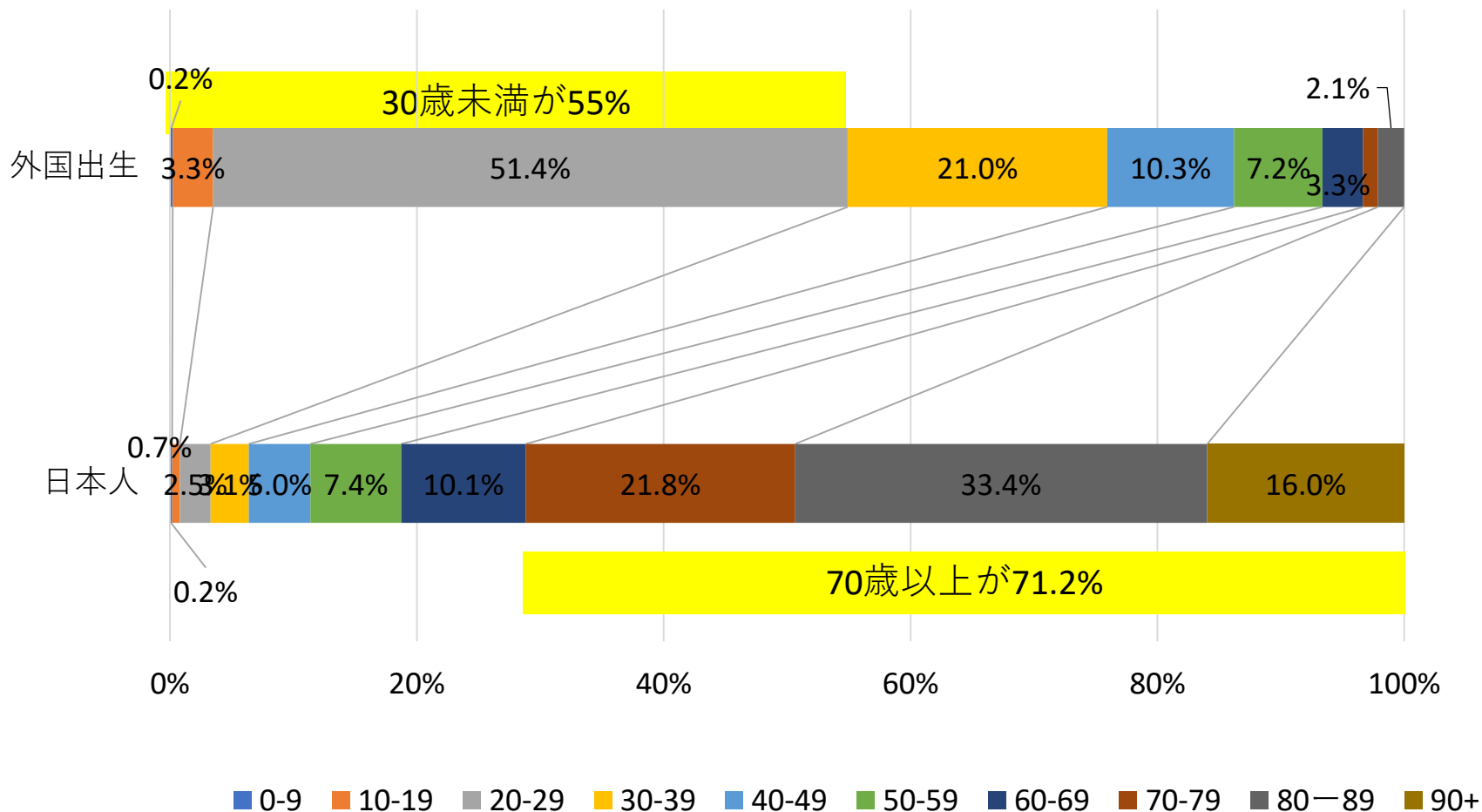
【出典：ECDC結核サーベイランス <https://www.ecdc.europa.eu/en/tuberculosis/surveillance>  
 CDC米国結核報告 [https://www.cdc.gov/tb/statistics/reports/2018/national\\_data.htm](https://www.cdc.gov/tb/statistics/reports/2018/national_data.htm)】

# 外国出生者の出身国(2021, n=1,313)

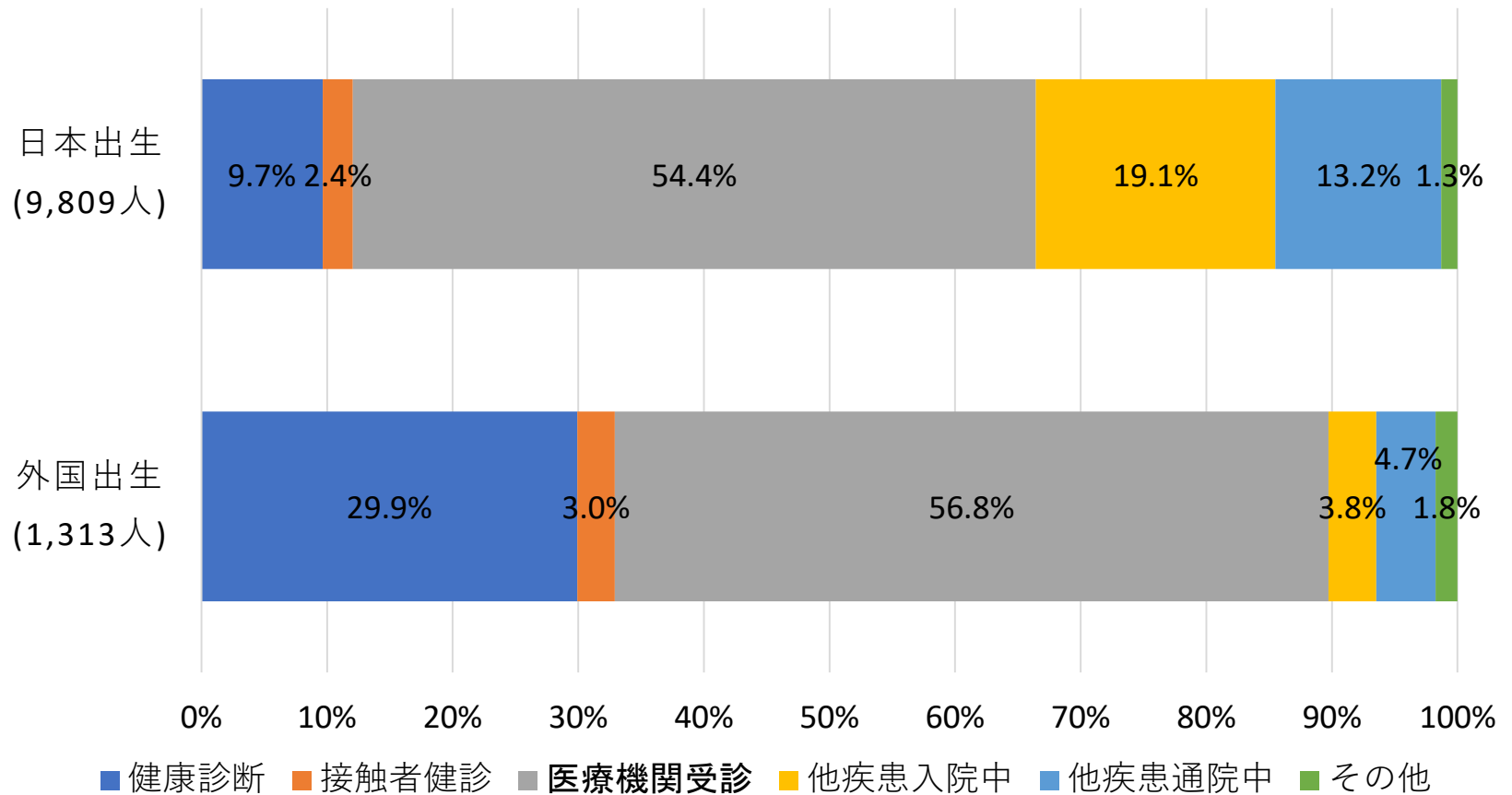


- 合計38か国地域によって出身国の構成は異なる
- 農業・漁業・製造業の技能実習生の発病があり，地方の問題にもなっている

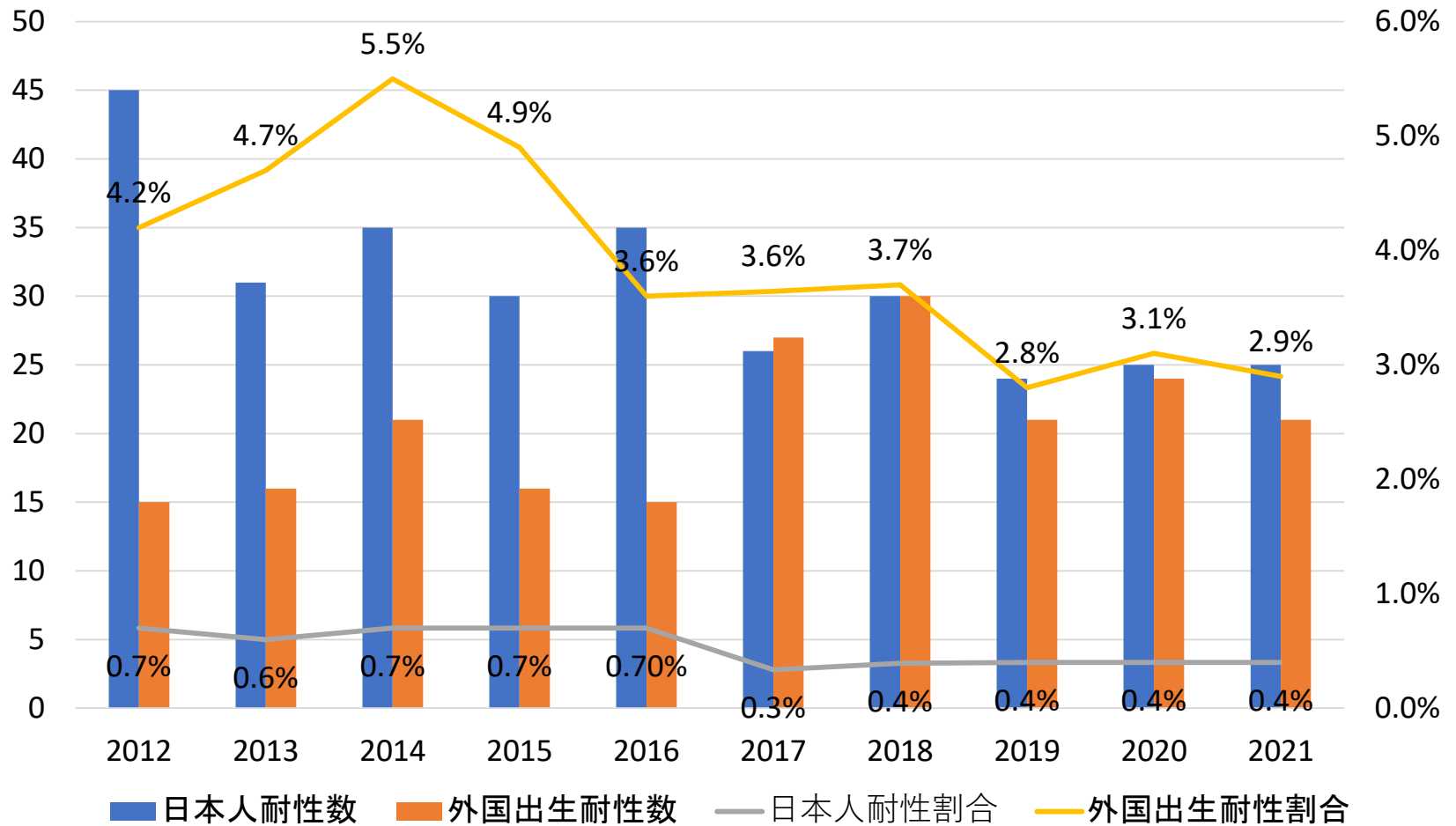
# 新登録患者の年齢割合(2021)



# 発見方法（出生国別, 2021年）



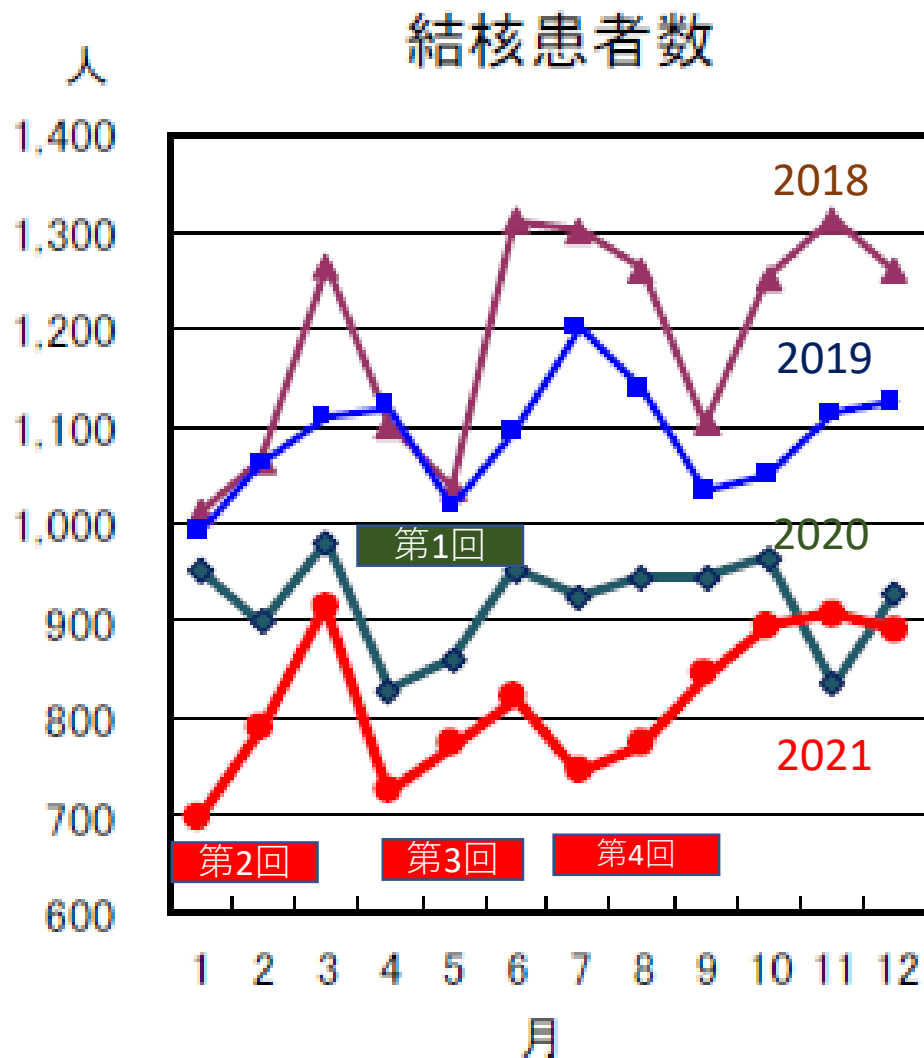
# 薬剤耐性結核 多剤耐性



【Tuberculosis in Japan 2021, 2021年報集計結果】



# 新登録結核患者数、月別、2018-2021年



- 緊急事態宣言

第一回：2020/4/7～5/25

第二回：2021/1/8～3/21

第三回：2021/4/25～6/20

第四回：2021/7/12～9/30

# まとめ

- 2021年の全結核患者届け出数は9.6%減少しており、2020年の減少率11.9%よりは縮小したが、2017-19年の7%よりは大きい減少率であった。
- 外国出生結核患者は入国年に発病したものは著明に減少したが、総数では日本人よりも減少幅は小さかった。
- 医療機関受診の患者発見はCOVID-19の増加に伴い減少しており、受診控えの影響と考えられた。
- 学校・職場における定期健診発見患者は著明に減少した。
- 接触者健診による発見は特に家族以外の接触者が著明に減少し、保健所における業務過重の影響と思われた。
- 一部の保健所・医療機関では重症者・死亡者が増加したとの報告があったが、サーベイランスデータでは示されなかった
- 二密の回避が患者減少につながった可能性も考え

# 結核患者・LTBI発見の推移

	2019	2020	2021
活動性結核（年報） 減少数・割合	14,460	12,739 1,721, <b>-11.9%</b>	11,519 1,220, <b>-9.6%</b>
外国出生者（年報） 減少数・割合	1,518	1,411 -107, <b>-7.0%</b>	1313 -98, <b>-6.9%</b>
日本人（年報） 減少数・割合	12,567	11,080 -1,487, <b>-11.8%</b>	9,809 -1,271, <b>-11.5%</b>
潜在性結核感染症 減少数・割合	7,684	5,575 -2,109, <b>-27.4%</b>	5140 -435, <b>-7.8%</b>

【出典：結核研究所疫学情報センター】

# 結核医療体制への影響

- 結核病床のCOVID-19への転用
  - ① 結核病床をCOVID-19に転用
  - ② 結核・COVID-19とも診療
  - ③ 結核病床をCOVID-19に転用した医療機関からの結核患者を受け入れ
- 影響
  - ✓ 結核患者の病床が一時的になくなり、入院待ちや他県や遠方の医療圏への移動を余儀なくされた。
  - ✓ 合併症を持つ結核患者や多剤耐性患者の病床確保が困難になっている地域があった。
  - ✓ 地域での結核患者の収容は可能だが、残存している結核病床に負担がかかりすぎている場合もあった。
  - ✓ 検査室に負荷がかかり、医療機関によっては、結核菌検査の遅れが生じた。
  - ✓ 一部の検査キットの供給が不安定になった